

意見交換会実施報告書

開催日時	平成26年11月12日 午後6時30分～午後8時00分
開催場所	平公民館
出席議員	二條 孝夫（責任者、報告者） 岡 秀子（司 会） 太田 昭司（記録者） 神社 正幸（報告者） 平林 英市（受 付） 竹村 武人（受 付）
参加市民数	9人
議会報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度決算の概要について ・議会における事務事業評価について
意見交換内容 (要望提言等)	<p>人件費について</p> <p>○発言1 市長は公約として身を削る改革と言っているが、人件費について額は減っているのか。</p> <p>★回答1 減らしており、職員数も削減している。</p> <p>市職員の非正規雇用について</p> <p>○発言2 市は企業に対しては正規雇用を増やせと言っているが、市では非正規雇用が増えている。</p> <p>★発言2 「できるだけ正規雇用は増やすべき」との意見や「市では非正規職員を増やすようなことはしていない」など、議会の中でも様々な意見がある。ご意見として行政側に伝える。</p> <p>ごみ焼却施設について</p> <p>○発言3 場所は確定しているのか。温泉郷の人たちは納得しているのか。</p> <p>★回答3 場所は確定している。温泉郷の人たちと広域連合で意見交換会を2度行っているが、未だに理解は得られていない。</p> <p>○発言4 白馬、小谷は、分別をしっかりとやっているのか。</p> <p>★回答4 大町ではプラスチック、白馬も小谷も電球などの分別が進んでいる。大町、白馬、小谷、それぞれが進んでいる分野が違う。広域連合でもしっかりと統一に向け取り組んでいる。</p>

○発言 5

広域の計画は、何十年も前の計画であり、今の時代に合っていない。今後人口はどんどん減っていく。広域でやるのが合理的なのか。

★回答 5

1つ建てるのに30億円程かかる。年間の維持費もかかる。広域連合で検討した結果、広域で1つ作った方が経済的だという結論になった。大町に建設を計画しているものは、40tと言われているが、これは非常に規模の小さいものである。

○発言 6

安全を重視してほしい。二ツ屋や中花見に降ってくる塵や農業への排ガスの影響も考えるべきでは。何十年先のことも考えてほしい。

☆回答 6

倉敷市では、ごみ焼却施設が市役所の隣にある。国が定める安全な基準値の1/10から1/100と言われているように安全だと考えられる。

大町市への誘客について

○発言 7

行政と市民との距離を感じる。市は本気で誘客を考えているのか。大町市のことを、松本市や安曇野市の人たちにさえ、よく知られていない。大町から外へ出ていっている人たちの意見も聞くべきだ。皆、大町のことを愛している。大町にいただけでは大町の良さが分からない。大町には歴史もあるし、いいものもある。しかし大町の人自身がそれを知らない。大町に来てくれる人の思いや考えをしっかりとリサーチして欲しい。大町は観光地だということを考えてほしい。

★回答 7

ご意見として承り、行政側に伝える。

特定地域型保育事業の条例制定について

○発言 8

どの程度進んでいるのか。私は野外保育をやっている。私たちの活動もようやく認めてもらえるようになり、今後は登録制になると新聞で見た。登録することでメリットがあるかも不安。阿部知事は、県は教育の多様性を進めているという。これはだいぶ前の話。管理されることが多くなっても困る。いま私たちがやっていることは無認可。家族の負担は大きい。普通の保育園は、所得に応じて保育料が戻ってくるが、今の私たちの無認可の保育所はそれがない。子どもを預かるのも2時まで。都会からも問い合わせがあるが、大町市では給料も安い、家賃も高い、保育料が払えない状況である。

★回答 8

様々な懸念もあるが、この制度により、教育・保育の選択の幅

ができることも事実。もともとは都会の待機児童の解消のためにできた法律である。

○発言 9

行政だけで決めるのではなく、当事者である保護者の方を含めて話し合うべきではなかったか。単に国や県が言っているというだけで決めるのはおかしいと思う。大町市独自のあり方でやるべき。

★回答 9

議員より「認可にあたっては、先生の配置とか面積などの一定の基準が設けられているがこれは必要なことである。これからの大町に大切なのは子育て支援だと思う。大町の独自性という意味では、認可外でも独自に何かできるのではと考えている。」という意見や「大町市が条例化した認定こども園の制度、市立の保育園については、今回は認定こども園に移行するところはないが、今後は公的な支援、責任がなくなっていくのではないかと、民間に移されていくのではと危惧している」、また「大町市では、私立幼稚園が認定こども園に移行するところがある。子ども達にとっては選択肢が増えたとも言えるのではないかと。子育てをしながら働いている人、病人の面倒を見ている人、介護をしている人などもある」という意見が出された。

大町市の将来のビジョンについて

○発言 10

木崎湖で、アウトドア、観光業の仕事をしている。大町市は、高齢化に伴い、事業所が減り、衰退化している。歳入では自由財源が4割を切り、市税も25%を切っている。大町市を今後どのように運営していくべきか。どのように財源を作っていくべきか。

★回答 10

これは行政の問題ではあるが、これからは、いかに持続可能な行政運営をしていくかが問われる。

○発言 11

行政がということも分かるが、議員としてもしっかりとしたビジョンが必要だ。

★回答 11

各議員に発言を求められたため、それぞれ考えを述べた。

木崎湖、中綱湖を結ぶ道路について

○発言 12

木崎湖と中綱湖を結ぶ道がない。今は幅広い世代の人たちが、走ったり、自転車で行ったりすることを楽しんでいる。三つの湖を1時間ちょっとで回れるのは素晴らしいこと。ただ木崎湖と中綱湖の間が危険だ。

★回答 12

ご意見として承り、行政側に伝える。

雑誌『KURA』について

○発言 1 3

行政が税金を使って市民に配らなければいけないのか。何の目的で作ったのか。不公平であり、掲載された商店と掲載されない商店がある。すごく不満だ。雑誌に載っている店にしか人は行かない。

★回答 1 3

いろいろな意見を聞いている。いただいたご意見を行政側に伝える。

くろよん50周年について

○発言 1 4

どれくらいの予算が使われ、どれくらいの効果があったのか。

★回答 1 4

平成25年度のくろよん50周年記念事業として1,200万計上している。参加された方は、何かしら実感していると思うが、全体的には良い事業であったと聞いている。手元に資料がないため、後日、回答する。

上記の回答

イベントが多岐に渡るため詳細な経済効果は推計困難である。主なイベントとしては、くろよんまつりスペシャルパレードには約3万人が訪れ、盛大に行われた。平成25年の観光客総数は291万人で前年と比べて0.5%の増、大町市の全体の消費額は約125億7千万円と前年と比べて2.6%の増であり、効果はあったと考えられる。平成26年度は担当課において精査中であり、今後公表される予定である。

自主財源について

○発言 1 5

市税として、観光がどれくらい、工場がどれくらい、市外で働いている人はどれくらいとか、統計はあるのか。

★回答 1 5

資料が手元にないため、後日、回答する。

上記の回答

ご質問内容の業種別や市外勤務の方等の納税割合の統計はない。参考までに、市税のうち市民税は約8%であり、個人市民税は約10億9千万円、法人市民税は約2億8千万円となっている。また、工業統計調査（平成25年12月現在）によると、工場数は48事業所、従業者数は2,107人となっている。また、平成22年国勢調査によると、第三次産業の就業人口は8,859人で産業別構成比率は約60%となっている。

	<p>定住促進について</p> <p>○発言 16 友人は、常盤から松川に引っ越してしまった。雪が大変だったという。流雪溝の整備をして欲しい。他の自治体では、時間制で雪を川に流しているところもあると聞く。詰まらないように時間を決めてやっている。I ターン、I ターンというが、住む人を大切にしてほしい。</p> <p>★回答 16 確かに市街地以外では整備が進んでいない。ご意見を行政側へ伝える。</p> <p>協働のまちづくりについて</p> <p>○発言 17 意見交換会の参加者もあまりにも少ない。先日、文化会館で観光大使がパネリストになって60周年記念のシンポジウムを行った。式典が終わると、議員含めて、参加者が帰ってしまった。さみしかった。観光大使の皆さんが、今後の大町について様々なアイデアを語ってくれているのだから、市民の皆さんは聞く義務と責任がある。もっと議員も、市民を鼓舞するような議員活動をしてほしい。</p> <p>★回答 17 式典、シンポジウムの後には、立川市の生徒が来て演奏をしてくれたが、私たち自身も率先して参加しないといけないと思う。ご意見として承り、各議員へ周知していく。</p> <p>○発言 18 これは未来会議だから、未来を語る会議にしてほしい。</p> <p>★回答 18 ご意見として承る。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成26年12月25日

政策調整委員会委員長 様

上記意見交換会責任者 二條 孝夫 ㊟